



愛の試作品 3



改〈詩〉



ナンシー・針山

あの日

タイムマシンがあったら

彼に伝えに行く

新しい床屋は変な髪形にされる、と。

黄色いTシャツは似合ってなかった、と。

近道のはずが工事で遠回りになる、と。

彼女は遅れるが必ず来るので安心してよい、と。

しかし

その愛は本物ではない、と。